



YWV OB会 編集委員長 石垣

まずは、ビルの壁をご覧ください。



National Gallery から見ていきましょう。
手前と奥の作品がイタリアの街、左奥がフランス・シャンポワール城(OB会報No.44、47掲載)



中世の絵画の中に、作品イタリアの街(OB会報No.44掲載)を展示してみました。
左の陰には文芸員がいて絵画の解説をしており、来訪者の女性は熱心に聞いています。



こちらはルーブル美術館。作品フランス・シャンポワール城 (OB会報No.47掲載) がルーブルの雰囲気になじんでいます。 C'est merveilleux !!



女性が熱心に作品フランス・サンミッシェル城 (OB会報No.47掲載) を見つめています。味わいのある作品ですネ。



さて、次はモダンアート会場の中にある作品苗名小屋(OB会報No.48掲載)。
素晴らしい作品です。



作品小仙丈岳から眺める風景(OB会報No.49掲載)が人気で、
多くの人が集まり、鑑賞しています。



子供連れの団体が作品フランクフルト(OB会報No.53掲載)の前に腰を下ろして、作品を堪能しています。子供に人気ですネ。



さて次はロンドンにあるNational Gallery。

作品ブダペスト(OB会報No.53掲載)が落ち着いた雰囲気のある美術館にとってもマッチしています。



この作品はご存じ妙高山（OB会報No.64
掲載）。子供が熱心に写真を撮って
いますネ。勿論、撮影OKです。



見学に来た子供たちがじっと見ているのは、
作品横浜市開港記念館（OB会報No.65
掲載）。趣のある重厚な作品です。



ヨーロッパ三部作 フランス・ドイツ・ハンガリーは如何でしょうか。



他の美術館でもヨーロッパ三部作 フランス・ドイツ・ハンガリーが公開予定です。
こちらは、会場のオープンを待っている作品たち。



最後は鈴木画伯の個展の風景です。
明るく広々とした空間の中で、各々の作品が個性豊かに光っています。



鈴木様、ご満足頂けたでしょうか。



そろそろ、おとぎ話の本を閉じることに致します。